

平成26年度 第2回進路説明会 資料

H26.10.25

大阪市立新東淀中学校

1. 進路決定までの流れ

- 10月25日 第2回進路説明会
11月6～12日 第1回進路懇談会
18日 第4回実力テスト
中旬 職業安定所より求人一覧表が届く
26～28日 2学期末テスト
12～1月 職場見学
12～1月 職業安定所と面接
12月初旬 面接練習(校長面接)
15～19日 第2回進路懇談会
22日 進路対策委員会
24, 25日 進路再懇談
26日～1月6日 私学願書取得
1月7～14日 私学進路相談
8, 9日 第5回実力テスト
14～16日 府立大学工業高等専門学校「特別選抜」出願
15日 就職「応募票」提出、高等職業技術専門校(テクノセンター)出願
24日 府立大学工業高等専門学校「特別選抜」論文・面接検査
26～28日 学年末テスト
28日 私学一斉出願
28日 府立大学工業高等専門学校「特別選抜」合格内定発表
2月2～4日 府立大学工業高等専門学校「一般選抜」出願
2月3, 4日 府立夕陽丘高校音楽科 出願
10, 11日 私学入試(一部の専修学校等は他の日)
11～13日 私学合格発表
12～20日 私学1.5次 出願・入試(一部の学校で実施)
9日 進路希望調査
15日 府立夕陽丘高校音楽科 視唱・専攻実技検査
府立大学工業高等専門学校「一般選抜」学力検査
高等職業技術専門校(テクノセンター)入試?
16日 公立前期選抜 一斉出願
17～20日 第3回進路懇談
19日 府立大学工業高等専門学校 合格発表
19～24日 自立支援コース 面接検査



- 23日 進路対策委員会
23日 公立前期選抜 学力検査
24日 公立前期選抜 体育科・演劇科 実技検査
24日 進路再懇談
28日 高等職業技術専門校(テクノセンター) 合格発表?
3月2日 公立前期選抜 合格発表
3日 進路再懇談
3月9日 公立後期選抜 一斉出願
12, 13, 15日 府立桃谷高校通信制 面接検査
13日 卒業式?
16日 公立後期選抜 学力検査
23日 公立後期選抜 合格発表
25日 公立二次選抜 出願・面接
27日 公立二次選抜 合格発表

2. 平成27年度入試

(1) 私学

日程は2月10日：学力検査、11日：面接

(2) 大阪府立大学工業高等専門学校

① 特別選抜 (論文・面接・調査書による選抜)

※ 応募資格 = 9科評定計72以上 ※ 募集定員40名 ※ 配点は非公開

② 一般選抜 (学力検査・調査書による選抜)

※ 募集定員120名

※ 配点

* 学力検査：数・理・英150点×3科+国・社100点×2科=650点

* 評定10点×9科×5倍=450点

* 府立大高専の一般選抜と公立高校前期選抜の両方には出願できない。(併願できない)

(3) 公立高等学校

① 前期選抜・後期選抜

1) 前期選抜のみ実施

※ 専門学科・総合学科・教育センター附属高・単位制普通科(全日制)

エンパワメントスクール

2) 前期選抜と後期選抜の両方で実施

※ 全日制普通科(単位制を除き総合選択制を含む)

クリエイティブスクール(Ⅲ部を除く)

*募集定員：前期80名、後期は残り

*普通科以外の学科を併設する普通科は後期選抜のみ実施。

旧1学区では茨木、北野、豊中、摂津、箕面の5校

*東住吉、夕陽丘の普通科は前期で40名募集

3) 後期選抜のみ実施

* 定時制(多部制Ⅲ部を含む)・通信制

② 学区

平成26年度より学区が無くなり、普通科を含め大阪府内の全ての公立高校に出願できるようになりました。

他府県の公立高校には、入学当初までにその府県に両親と共に転居する場合と、大阪府内の公立高校には無い学科を受験する場合の他は、原則出願できません。

③ 学力検査科目及び配点

1) 前期選抜

* 学力検査は全学科とも国・数・英の3教科、

配点は以下の学科を除き50点×3科=150点

* 文理学科：100点×3科=300点

* 国語科：国100点+数50点+英50点=200点

* 理数科、総合科学科：国50点+数100点+英50点=200点

* 英語科、国際教養科、国際文化科、グローバル科、グローバルビジネス科

国50点+数50点+英100点=200点

* 評定は全学科：10点×1倍×3科+10点×2倍×6科=150点

* 以下の学科を除き小論文を実施：配点は30点

* 小論文以外を実施する学科

* 音楽科：視唱20点+聴音20点+専攻実技60点=100点

* 体育科：運動能力30点+運動技能120点=150点

* 美術科、ビジュアルデザイン科、デザインシステム科、総合造形科：実技100点

* 芸能文化科：朗読30点

* 演劇科：身体表現50点+歌唱表現50点=100点

* 教育センター附属高：情報活用力50点

* クリエイティブスクール：面接(ボーダーゾーンでの選抜資料)

* エンパワメントスクールは後述

* 前期選抜の学力検査問題は3科ともI(標準と発展)とII(基礎と標準)の2種類が作成され、学科により出題される問題が決まっています。

* 国際文化科、総合科学科、文理学科、理数科：3科ともI

* 国語科：国語I、数学II、英語II

* サイエンス創造科：国語II、数学I、英語I

* 英語科、国際教養科、グローバル科、グローバルビジネス科：

国語II、数学II、英語I

* エンパワメントスクールは後述。

* 他の学科は普通科を含めて3科ともII

2) 後期選抜

* 全日制普通科(単位制を除き総合選択制を含む)、クリエイティブスクール

* 学力検査：70点×5科=350点

* 評定：10点×3倍×5科+10点×5倍×4科=350点

* 各校が学力検査と評定の割合を次のタイプより選択(高校名は旧1学区のみ)

・ タイプI：(学力検査×1.2倍=420点)+(評定×0.8倍=280点)=700点
池田、茨木、茨木西、春日丘、北千里、北野、桜塚、渋谷、吹田、吹田東、摂津、高槻北、刀根山、豊中、三島、箕面、山田、豊島、北摂つばさ

・ タイプII：(学力検査×1.0倍=350点)+(評定×1.0倍=350点)=700点
芥川、阿武野、大冠、北淀、島本、西淀川、東淀川

・ タイプIII：(学力検査×0.8倍=280点)+(評定×1.2倍=420点)=700点
池田北

* 定時制(中央高校を除く)・多部制Ⅲ部

* 学力検査：定時制用の問題を使用、50点×3科=150点

* 評定：10点×1倍×3科+10点×2倍×6科=150点 計300点

* 中央高校

* 学力検査：定時制用の問題を使用、50点×3科=150点

* 評定：10点×1倍×9科=90点 計240点

* 全日制後期選抜の学力検査問題は、数学と英語でA(基礎と標準)、B(標準と発展)の2つのタイプの問題が作成され、各高校が選択します。

* 数学・英語ともAを選択する高校(旧1学区)：芥川、阿武野、池田北、大冠、茨木西、北淀、渋谷、島本、吹田、吹田東、摂津、刀根山、西淀川、豊島、東淀川、福井、北摂つばさ、箕面東

* 数学・英語ともBを選択する高校(旧1学区)：池田、茨木、春日丘、北千里、北野、桜塚、高槻北、豊中、三島、箕面、山田

3. 府立高等学校の改編

(1) エンパワメントスクール(箕面東、長吉、西成高校)

① 内容(別紙)

② 入試制度

* 学力検査：基礎的な内容を多く含むエンパワメントスクール専用の問題を出題

50点×3教科=150点

*評定：10点×1倍×3科+10点×2倍×6科=150点 計300点

*自己申告書

*面接：5～6人のグループ面接20分程度

*選抜の手順①：・学力検査の得点が一定以上の生徒対象

- ・面接、自己申告書、調査書の総合所見の内容を総合的に判定
割合 面接：自己申告書：総合所見 = 2 : 1 : 1

・この手順による合格者は募集人員の50%まで

手順②：学力検査の得点と評定との合計点の高い者から定員に達するまで

*ボーダーラインは無し

(2) 工科高校大学進学専科 (茨木工科、今宮工科、淀川工科高校)

- ① 内容 (別紙)
- ② 入試制度：総合募集の専科と同じ (相互に第1・第2志望ができる)

(3) その他

- ① 福井高校が総合学科に改編 (入試は前期のみ)
- ② 池田北高校と咲島高校が平成27年度 (現3年が受験) 限りで募集停止
(後輩が入ってこない)

4. 費用

(1) 私立高等学校等支援金 (授業料のみ) 高校入学後申請

所得金額と支援額 (平成26年度 年間授業料58万円の場合)

所得区分	国の支援額	府の支援額	保護者負担額
0円 (約250万円未満)	237,600円	342,400円	0円
51,300円未満 (約350万円未満)	178,200円	401,800円	
154,500円未満 (約590万円未満)	178,200円	401,800円	
162,900円未満 (約610万円未満)		461,200円	
251,100円未満 (約800万円未満)	118,800円	361,200円	
304,200円未満 (約910万円未満)		0円	
304,200円以上 (約910万円以上)	0円	0円	580,000円

* 所得区分は市民税所得割額の合計。()は4人世帯の年収の目安。

(2) 奨学金

① 大阪府育英会：奨学資金 (貸与)

*年額授業料+10万円以内 *年収約800万円以内

② 大阪府育英会：入学時増額奨学金 (貸与)

*国公立5万円以内、私学25万円以内 *年収約610万円以内

③ 大阪市奨学費 (給付) 高校入学後申請 *内容 条件共に未定



④ 大阪府私立高校等奨学のための給付金 高校入学後申請

*府内私立高校に限る (年額)

*生活保護世帯……………全日制52,600円 通信制 対象外

*市民税所得割額非課税世帯

・23歳未満の兄又は姉を扶養する世帯……全日制138,000円 通信制38,100円

・上記以外……………全日制 38,000円 通信制28,900円

6. 公立高校と住所、名前

(1) 住所

公立の全日制高校およびクリエイティブスクールの全日制、I部、II部に出願するには、原則として本人および両親(どちらが亡くなっている場合は生存されている方、離婚されている場合は親権者)の住所(住民登録されている住所)が大阪府内にある必要があります。そうでない場合も出願できますが、別の申告書などが必要な場合があります。早い目に担任までお知らせください。特に3年生途中から転入してきた場合は、教育委員会の審査が必要な場合がありますので注意してください。単身赴任などで両親のどちらかの住民登録が府外の場合や、離婚されていて親権者が府外に住民登録をされている場合なども、申告書等が必要になります。注意してください。

定時制、通信制の高校と多部制の高校のIII部には、本人の住所が大阪府内にあるか、住所が府外でも大阪府内の事業所に就職する場合は出願できます。

(2) 名前

公立高校は住民登録と同じ字体で本名で出願することになっています。事情によつては願書には通称だけを記入して出願することができますが、中学校で作成する調査書には本名を書かなければなりません。その場合は必ず事前に担任までお知らせください。高校入学後は、中学校と同様に通称を使うことができます。

